

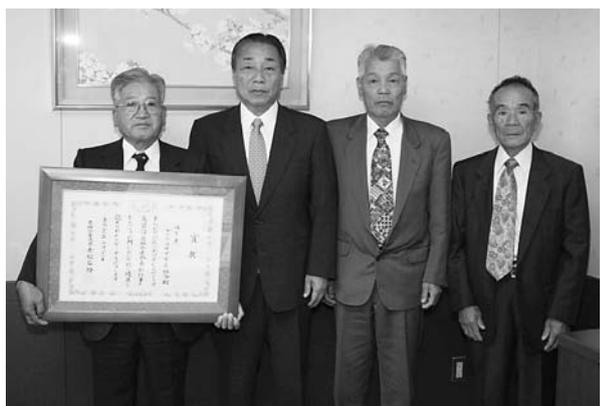
関市のために
ありがとう
ございました



10月15日、59回目となる市制記念日に市政功勞者の表彰式が行われました。地方自治や産業、社会福祉、保健衛生、教育文化で功績のあった19人の方が市長から表彰を受けました。また、多大な

寄付などで、6人の方と3団体に感謝状が手渡されました。午後からは教育功勞者の表彰式があり、8人の方と1団体に教育委員長から賞状が手渡されました。

あんな事、こんな事



ゆずで元気なむらづくり

平成21年度豊かなむらづくり全国表彰事業で、かみのほゆず生産組合が中心となって上之保地域で取り組んでいる「ゆずによるむらづくり」が評価され、農林水産大臣賞を受賞しました。市長からお祝いの言葉を受け、同組合の宇佐見仁組合長は「ゆずが上之保地域の基幹産業として育つよう、これからも頑張っていきたい」と話していました。

流域の自治体つなぐ旗のリレー

来年6月に関市を主会場として開催される「第30回全国豊かな海づくり大会」に向けて、長良川流域の自治体を巡る「回遊旗リレー」の引き継ぎ式が10月28日、市役所で行われ、坂井弘道富加町長から尾藤義昭関市長へ回遊旗が手渡されました。この旗は、郡上市から下流に向かってリレーされていき、関市では市役所などで展示された後、11月5日に岐阜市へ引き継がれました。





豊かな自然の中でペタン

迫間・大岩不動尊のふどうの森で10月25日、ふれあいの親子森林教室が開催されました。参加者らはヤマモミジなどの苗木の植栽や竹細工を楽しんだり、お昼にはバーベキューともちつきを行ったりして、自然豊かな森の中で普段はなかなか経験できない体験を親子そろって満喫していました。午後には野菜の収穫も行い、近くの畑で無農薬の大根などを収穫しました。

おいしい果物はいかが

関市文化会館で10月18日、福祉フェスティバルが開催されました。社会福祉協議会各支部によるうどんやおでん、果物販売などの模擬店や、各種ボランティア団体のバザー、子どもたちの和太鼓演奏やダンスなどで会場はにぎわいました。また、館内では障がい者の作品展示や各種相談、手話・点訳・音訳の体験などが行われました。



手をあげて渡ろうね

上之保保育園で10月26日、祖父母参観にあわせて交通安全指導教室が行われ、園児たちは大好きなおじいちゃんやおばあちゃんと一緒に交通ルールを学びました。交通安全指導員の指導で、園児らは横断歩道を渡る前の安全確認や渡り方などを教わりました。また、交通安全協会上之保支部から、夜光たすきや自転車用反射板などが園児らにプレゼントされました。

大きなおイモ み~つけた

10月29日、武儀東小学校全校児童が学校隣の畑でサツマイモを収穫しました。5月の苗植えからずっと、青少年健全育成協議会の方々と一緒に育ててきたサツマイモを、児童らは両手を土だらけにしながら掘り起こし、大きく育った秋の実りに喜びの声を上げていました。収穫したサツマイモは、収穫祭で焼きいもなどにして、おいしくいただきました。



こぼれ話



10月31日、「第29回全国豊かな海づくり大会」が東京都で開催されました。式典の様子はテレビで生中継され、私もその様子を見ていました。式典の最後で、大会旗が古田肇岐阜県知事に手渡されるのを見て、いよいよ私たちの番だなと思いました。県内では、各流域の市町村が「回遊旗リレー」を行っており、長良川流域に属する私たち関市にも回遊旗が訪れるなど、来年6月開催の「第30回全国豊かな海づくり大会」に向けてさまざまな取り組みが行われています。

海づくり大会のほかに、来年は、関市が「市」になって60年という節目の年です。この市制60周年を迎えるにあたり、市では「市制60周年記念ロゴマーク」と、関市を全国的にPRするための「イメージキャラクター」を募集しています。応募の締め切りは11月30日(月)まで(当日消印有効)。最優秀賞には賞金10万円(各1点)、佳作には賞金1万円(各1点)がもらえます。応募規定など詳細は、広報せき9月1日号2ページまたは市ホームページをご覧ください。企画政策課(☎ 22-3131 代)までお問い合わせください。皆さんのアイデアをお待ちしています。